

齒類に終る名彙の全部 (pp. 1-255) である、此部の年代は *Botan. Zeit. l.c. et* (1877) 568 によれば 1877 年又は 1876 年と成つて居るが *Botan. Jahresber.* (1878:2) 943 には 1875 年と成つて居る、何れが眞であるか判断のし様がないが恐らく 1877 年よりも前と思はれる。それから同じく *Botan. Zeit.* (1879) 376 には第二部及び第三部は各々 1878 年及び 1879 年の出版と成つて居る。中井博士は (第二巻を二部から成るとされては居るが) 1876 年及び 1879 年と考へて居られる、しかし第二巻の 260 頁に *Octobre 1876* とあるから實際の発行日はその次年以後であらう。此の二部と三部との區切りは調ただけの材料では一つも明瞭な點が見當らぬが中井博士は 506 頁と 507 頁との間にあると考へて居られる。又小泉先生からはかねて 624 頁と 625 頁の間で切れると同つて居つたので何れが何れやら薩張り判らなかつた。所が今春臺灣に旅行したとき臺北の正宗嚴敬氏の所蔵して居られる此の書が變な所で切れて居ると同氏に承つたので早速拜見した所、624 頁と 625 頁との間で切れて居るのであつて此の事は又最近に鈴木時夫氏に御依頼して確めて頂いた、此れは小泉先生にお伺ひした所とよく合致するので恐らく此れが實際の區切り場所ではないかと思ふ。

尙最後に *Bull. Soc. Bot. France* 26 (1879) *Rev. Bibl.* 1. に全體の出版年代が 1874-1878 年と成つて居るのは注目に値すると考へる、と云ふのは *Enumeratio* の第二巻の *Index* 727 頁に *Les espèce précédées d'un * sont décrites dans une Note lue à la Société botanique de France, séance du 8 Novembre 1878* (實際は 28 *Février* 1879 日附の同誌に掲載) と云ふ記事があり、且つ * のついた種には頁數の引用がないから此の *Index* は 1878 年の十一月までには校正が出来た事に成り、その部分迄少くとも 1879 年の春早々までに或は 1878 年の年内には發行に成つて居たのであると考へる事が出来るからである。

此の様に出版年代は思つたよりは複雑して居て吾々若輩者には手に負へ相もないので一切は先哲の方々に解決して頂くのを待つ事にする。終りに色々と御指導をたまはつた恩師小泉先生に厚く御禮を申上げる次第である。

抄 録

遠藤隆次：—南滿洲前寒武利亞紀海藻 (*R. YANDO* :—*Manchuriophycus*, nov. gen., from a Sinian Formation of south Manchuria, in *Jap. Jour. Geol. Geogr.* XI. 1933 p. 43—48, t. 6. 7.).

著者は 1933 年 C. E. RESSER 氏と共に南滿洲の前寒武利亞地層より *Cryptozoon fuchoensis* RESSER & YENDO, *Cryptozoon tahoensis* RESSER & YENDO, *Cryptozoon cylindrica* (GRABAN) を發見せしが今又 *Palaeophycus* に類せる新屬 *Manchuriophycus* を發見せり, 新屬は *Manchuriophycus Yamamotoi* YENDO, *Manchuriophycus inexpectans* YENDO の二新種より成れり. (G. KOIDZUMI).

石嶋：—遠江女神山産第三紀珊瑚藻科の二新種 (W. ISHIJIMA :—On three species of *Corallinaceae* lately obtained from the Megamiyama limestone, Sagara district, Prov. Totomi, Japan, in *Jap. Jour. Geol. Geogr.* XI. 1933 p. 27-30, t. 5).

著者は先に遠州相良の女神山第三紀石灰岩中より數種の珊瑚藻科植物を發見せしが今回又其追補として *Archaeolithothamnium megamiensis* ISHIJIMA 及び *Lithoporella quadratica* ISHIJAMA の二新種を發表せり. (G. KOIDZUMI)

セワード：—古松葉蘭族の新屬 *Haplostigma* に就て, (A. C. SEWARD : Fossil Plants from the Bokkeveld and Wetteberg Beds of South Africa, in *Quart. Jour. Geol. Soc. Lond.* vol. 88, 1933. p. 358-368. fig. 1, t. 2).

近年下部泥盆紀の植物研究著しく進歩し古松葉蘭族 (*Psilophytae*) と石松族 (*Lepidophyta*) との関係漸く明かなるに到れり, セワード氏の新屬 *Haplostigma* の如きも古松葉蘭科 (*Psilophytaceae*) に近縁あるものなるべく同時に亦 *Dutoitia*, *Cyclostigma*, *Protolepidodendron* とも近似せる形質あり.

Haplostigma は南亞弗利加の英領地の中部盆泥よりも若かゝらざる泥盆地層より發見されしものにて, 莖は多分多少多肉質なりしものゝ如く直徑 5 cm. あり, 處々叉狀分岐をなせしものゝ如し, 表面平滑にして枝には表面に螺旋狀に排列せる卵圓形又は圓形の痕綫あり, 小枝には往々此痕綫を缺く, 此痕綫は他の種類より察するに多分表面より突出せるかたい刺狀の突起物なりしなるべく, 突起物は下方脫離組織によりて落下し殘部は残りて痕綫をなせしものと考へらる, 此痕綫には又葉跡 (leaf-trace) の痕もなく *Parichnos* 條もなく又舌片の形跡もない, 然し莖には *Arthrostroma*, *Psilophyton* や *Asteroxylon* の如く中心柱ありて其横斷面は星狀なりしと思はる. (G. KOIDZUMI)

エクセル：—中華民國産シクンシ科植物 (A. W. EXELL, *The Combreaceae of China*, in *Sunyatsenia* vol. I. pp. 85-94, pl. 21-23, July, 1933).